本 テ n

秀業 ワ

我

輩

モ

懇

意

=

シ

テ

松 大橋

坂

1

歷

史

ŀ

Æ

云フ

+

ッ

タ

話

駝堂

家

舊

松

カ

長

家 町

西 井

三在

リ秀業翁ノ家カ

ラ

軒

措 丰

オ タ

テ ガ

寄

ý 活

デ

小路 べ

ヘハ 人デ

後 7

=

移ッ 孫

タ

Æ

Z, ヺ

サ

ゥ

甞

湊町

ッ r

タ

ŀ タ觀音

云

駝堂翁

ラ子

Щ

村

氏 1

稱

タ A. 紛

ガ

津

市 ナ **J**...

枝

片

集

1智榮禪 安永 四 年乙 未 九 月於森井本 家死 松本元祐 代和

心廣元胖 居 士 天明 元年辛丑 九 月二日 俗名大慎

和 歌 八歲、

往來手

形

ノ享保十二

一年五十二

五歲 辛未

カラ推

スト

翁ノ享年ハ卽チ七十

九歲

ダデアル

丽

シ

テ櫻

并 見

君 I,

所藏駝堂翁辭

世

帳

に上據

n

ŀ

·駝堂翁

٠,

寶曆

元年

正

月十

五日ヲ以

テアア

テキ

N

大

潮

和

尙

人

麥

頌

=

N

享保

五.

车

四

尙 2

.)

兄 士

居

壶

阿 里 正 Ż,

ŀ

 $\gamma$ 

な < な 5 登 幾こと 越 今 楚 志 る 河を Š Ŕ 阿

字

也

登

v

太

盤

不

可

思

議

正 月 = 其 + 四 1 永眠 H 前 H 繭含駝堂居士末後 モノニカヽ ル 翁ノ

先妻

ハ翁

Ξ

先

ツ

=

ŀ

#

九

年ノ

昔

=

歿

シ

タ

**\_** 

ŀ

ガ

亦

過

去

帳

テ居 老母 ŀ ノ病ヲ治シ處方 聞 ŋ (大正十三年 ラ授 五 ケ 月 タ y 二日稿 シ 夕 事 Æ ア

枝 片 葉 (其四十七)

六二八頁

= ŀ

ボ

N

日

本

|物志』(Flora Japonica) カラ轉寫

ガ茶

ナ

正

+

五

年十月發行ノ醫學博士吳秀三先生

1

著

セ

圖

ガ

ッ

居 1 ř

N

ガ

其 ŀ 大

ボ

J-"

ゥ

タ

拍子カ「日本植物

志」

茶樹

野 富 太 郞

牧

圖 ラ シ ŀ 1 ナ タ ッ 梅 ボ ヶ テ 居 ッ jν (Prunus Mume ŀ 先生』 テ 剜 ŀ = Œ 顏 誤 セ SIEB. モ ル大著中 ナ Zucc.) 其第 第五:

號

枝片葉 テ

但

馬

豐岡 斷

方言

デ

ŀ ,

フ

,

花穗

Æ

其

粗

密

定

ズ

里

=

在

者

莖モ伸

t

カナ

Æ

高

キ

Щ

=

在

w

者

ハ莖低

ク花穂

Æ

稠

密

デ

N サ N

此

的

ŀ

成

ッ

iv

ガ セ

然

シ

此

如 n.

キ

Æ

别二

變種ト :ビテ花モ寛

スベキ性質ノ

者デ ŀ

1

ばばばな

か

반

誌第

五.

シ

紅

ヲ

呈 ナ デ

區 色

界

モ

スベ

+

り ト

述

₹

テ

置

1

Ø

如

ŋ

花後果實ヲ圍ンデ

宿

|存萼ガ

增 Щ

大

七

シ

時

普

通

其 接

V **≥** 

ガ白

色

デ

アル 逢着

ガ

其 テ

極

其

Æ

叉 ガ 至

ルマ

',

種

R

,

品

頮

ヲ

親睹

セ

ン

ŀ

欲セ

۱۲ ۱

宜

シ

ク駿州富

士

=

入リ其實景

=

其各品

シ

大

=

悟

イ Ħ デ Æ 預ネ ナ 慮 力 テ Æ ラ 偉 同 Ď, ィ 樣 人ダ てん H ŀ 本 な大 聞 テ 著 居 志 Ξ Þ こん ガ 樹 梅 な事 ラ茶 圖 ŀ ガ ŀ ナ 7 間違へル様デ " in テ 居 トハ意外、 v ソ ハとてもお = 早ク デ 始 E メ 誤 テ 話 3 此 テ置 書 **≥** = ヲ ナラン キ 繙 ダ " 1 ヂ Æ ハ 3 ン Y デ ナ τ ア ィ v 力 ŀ シ v Ţ ぶかる ボ n Ď ŀ Ă V ŀ

つさう / テ置 イ 一異品 シ 如 D g, 本品 = 過ギナイノ 飯 沼 ソ ハ 其花 シテ **総齋** 蚏 色 著 デ私 1 治 深 四 十三年 木圖 + **^**\ 極端 先キ 說 者 ニ此學名ヲ Polygonum Reynoutria = 卷ノ七 ニシテ特立 『草木圖說』ヲ增訂スル時著者ノ = めいげつさうト セル 一種ニア 一云っ者 ラ ズ ガ圖 白花ヲ開 原 Makino forma colorans 說 文ノ次 テア ŋ 、普通品 jν 「前條イ 此 3 y V ァ シ ハ テ、 F 元 リノ下ニ於 來 MAKINO. 紅 ダ 色 10 深 v たどり テ 本 ŀ 述

定シ ナ 如 シ 又其紅白 ィ ŋ テ居ラヌ 自 叉葉形 然 1 狀態 1 間 甚 モ ヲ 種 D. 二 靜觀 ハ株 シ ħ. + デ 文其肥 スル人 **八石** 二 3 罅 地 リ濃 ノオ 三生 淡 いたどり セ゛ ŀ ア 石礫 シ n 淡 モ ノハ = 7 紅 異品 間 色 特 = 生 中 = = 葉 蕳 ソ ズ 7 諸 ガ N 硬ク 者 品 V 別 ŀ ヲ 莖 連 ハ 變種 大 ガ ネ 極 小 テ 居 ナ メ 形 1. 狀 テ w 低 1 1 硬 無 軟 ヲ見 ク 等 ィ タ 事 種 ル 10 ヵ゛ 數 ħ 合 寸 ソ 點 ≥ 相違 = テ 過 セ 其 ラ ギ シ 且 間 ヌ

中二 デまん ハ 此 吾 **北名ヲ擧** 入っ さく 稱 (Hamamelis japanica スルこんぶデ始メ Laminaria (206)頁、 第四行) SIEB. ガ料ラズモ Ħ

 $\mathbf{Z}$ ucc.)

ヲ

指

**≥**⁄

Ø

Æ

, n

デ ヲ

ア

海

ŀ

ケ

タ

レ

其 ナ

何

ン

植

物

ダ

7

落

シ

Ŗ 本

即チ

那 7 海 n ガ今果シ 云 ・テ其 何 種ヲ指シ タモノカハ固 3 y 明メ難イ、 屬ノ何 支那ノ 力 『本草 種 綱 ヲ 告 目 支那 ŀ - 云フ書: ガ 物 海 帶

枝

片

支那名海

出

「テ居

ŋ

叉

清國水產辨

解』ニモ海帯ヲこぶト

テ居

N

先ヅ此ン

ナ譯ユヱ

私

ハ

海帯ヲこん

時支那 づめ デアル 輸入 一仙臺 ヲ ス 引 輸入セラレ ルこんぶヲ東洋海帯『植物名實圖考』ノ 一名みづわかめ テ 海帶 タ事 ガ明 同上、生ノモノ , 水中 ノ圖 = 想像セ ŀ ラ親 稱 ス テモ IV ラル、『本草綱目啓蒙』 ニ出ヅ」 一名ぼんめは同上、乾物 ŀ 其レガこんぶ属ノ者デア 『支那貿易物產字典』ニ ŀ 7 n チ此 ヶ充 デ 品 ガ ルテ、居 之レ 出 n 支那 事 「テ居 ガ首肯セ ヲ y Laminarıa 攵 ガ是レ H ラ 清物產略 ハ中ラズト 海 力 支那 ラ そめ デ 難ド E = 日本 モ遠 ハ デ こん 其 3 カラヌ んぶョ y ガ

行發月三年六和昭 さっぱり ヲあら 定メ ァ シ 其 カ 昆 ス n, ッ Æ 著『本草綱目啓蒙』二見 ラ 布 ヲ見テモ 信 Æ IJ. 其 B 李時 判ラ ラ措 1 者 出ルトモ書ラアル)、『本草綱目啓蒙』こハ朝鮮人ハわかめノ事ヲ昆布 ŀ ソ **≥**⁄ シ ラ其種 『本草綱目』 固ョリ其こんぶデハナイ ヌ 羽狀裂ノ大形ナ海藻ガ描イテアッテ敢テ ノハ ガ , 足ラ デア 述 小野 固 必 n ヌ 蘭 3 Æ Щ リ誤デア ズ ニ據レ 工其後 シモ 『本草拾遺』二在 ハ古人ノ説ヲ守ッテ之レヲもづく ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゚゚゚゙゚゚゚゚ 一種ニ jv · ノ學者ハ皆之レニ雷同シ 此レモ前者ノ海帯ト同ジク 東海ニ出 タ ノ海 ッ 然レ 限 ~ ラ ルル海蘊 ル所海蘊 バ此レハ何デアル乎私 レタ者デナイト定メ置 昆布 記 文 ブ記 海藻 文ハ「大海 少シモ 此昆布ハ今日吾人 ・テ居 亂 謂ユルこんぶ (Laminaria (Cladosiphon decipiens 種 n, 絲 クノ ナ ハ ý 中二 之レ 然シ是レ 和違ナ グガ實際 文其葉之 生 'n ヲ わかめ æ ズ 1 細葉 ノデ高麗カラモ ィ ハ眞ニ 稱ス ŀ 書ク 運用 ガ 似 馬 其 (Undaria pinnatifida Suring.) n 尾 3 ŀ こんぶノ字源デア 刄 L デ 記シ ァ IJ ガ イ加減ナ 何 如 ラ OKAM.) ・テ居り、 ゥ ン 海藻 , 名 Щ ŀ 思 種 n 必像ノ充 「植 っ充 ŀ フ、 似 7 プテ居 跡 物 n 往時海帶 者 テ 名 短シ ŀ 實圖 方 尚 ナ デ カ

充テタ漢名ニ 海藻ナラ テ

何 ン 信 デ ジ Æ 之レニ當ル、 難 イ E , ガ顔 其レ 多 イ事ヲ今日世人 ヲ特ニも づく 何ン ハ能 ク知 ッ 誠 テ置 力 キ ネ ナ ナラ デ ハ ァ n